京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

2023/10/7
～12/3

特別展

東福寺 はじめてガイド

この秋、京博では、
京都を代表する禅寺（ぜんでら）「東福寺」を
紹介（しょうかい）する展覧会（てんらんかい）を開催（かいさい）します。

えっ？もみじで有名だから知ってる？
鉄道の駅の名前だから知ってる？

でも、それだけじゃあ
ないんです！

東大寺（とうだいじ） 興福寺（こうふくじ）
↘ ↙
東福寺（とうふくじ）

子どものなまえみたい……

国宝 東福寺 三門

1 いつできたん だれがつくったん？

第１章　東福寺の創建と円爾

東福寺の最初の住職は、円爾というお坊さん。
中国の禅宗界のえらいお師匠さんから教えを学んだよ。
朝廷の最高実力者・九条道家に頼まれて、東福寺を開いたんだ。
東福寺ができたのは 13 世紀の鎌倉時代。
日本一のお寺になるようにと願いこめて、奈良にある「東大寺」と「興福寺」からひとつずつ文字をとって名付けられたよ。
災害や戦争にも耐え、現在までたくさんの宝物を守りついできたんだ。

東福寺には
国宝は7件
重要文化財は98件もあるよ。

重要文化財　円爾像（部分）　鎌倉時代　13 世紀　東福寺（前期展示）

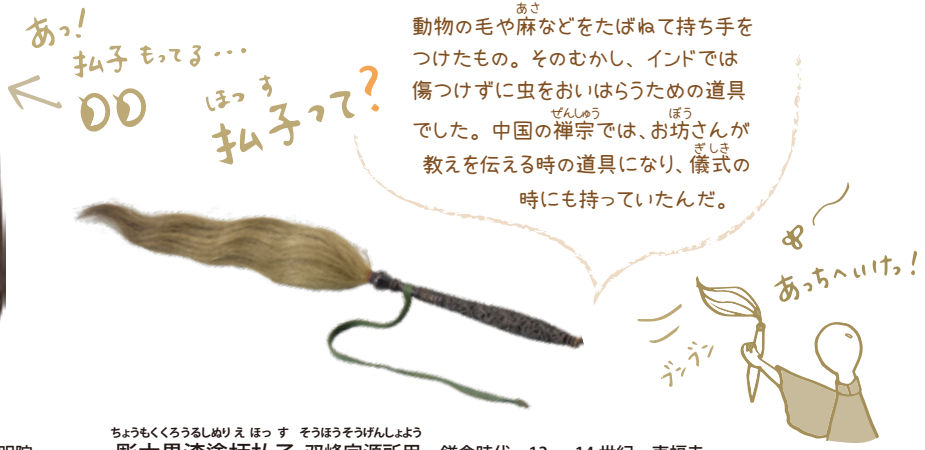
円爾の中国での
お師匠さん！
表情に注目！
とってもリアル！
今、生きている
人みたい。

重要文化財　無準師範像（部分）師古賛　中国・南宋時代　宝祐２年（1254 年）　東福寺（後期展示）

2 聖一派って何？

うらにつづく

円爾さんの後をついで教えを伝えた人たちを聖一派っていうんだ。
とても勉強熱心で、円爾さんのように中国に渡って禅を学んだり、むこうで流行っている品物やたくさんの知識を持ち帰ったりしたよ。
東福寺には、お坊さんたちの生き生きとしたすがたをうつした絵や彫刻、袈裟（お坊さんの服）や、普段のくらしで 使っていた道具などがたくさんあるよ。その時代のようすが、とってもよく伝わってくるね！



重要文化財　蔵山順空坐像　鎌倉時代　14 世紀　京都・永明院

彫木黒漆塗柄払子　双峰宗源所用　鎌倉時代　13 ～ 14 世紀　東福寺

3 伝説の絵仏師！

第３章　伝説の絵仏師・明兆

五百羅漢図 10人×50枚＝500人

東福寺で大活躍した伝説の絵仏師その名は明兆（1352～1431）。絵を描くことひとすじに生きたお坊さんだよ。

江戸時代までは、あの雪舟に負けないほど有名だったんだって！

絵を描くことは教えを伝えること。

お寺ではとても大事な役目だったんだ。

明兆は墨だけではなく、カラフルな絵の具も使ってたくさんの巨大な絵をパワフルに描き上げたんだ。

重要文化財　五百羅漢図　吉山明兆筆　南北朝時代　至徳３年（1386年）　東福寺　※東京国立博物館会場　展示風景

ちょっと作品ガイド

会場で縦長の掛け軸にたくさんのおじさんが描いてある五百羅漢図を見つけてね！あっ！ごめん、ごめん。おじさんといっても、この方たちは羅漢といって、すごい修行をして特別な力を身につけたえらいお坊さんなんだ。ここに並んでいる絵は明兆がまだ若いころに描いた代表作だよ。1枚の絵に10人ずつ羅漢さんが描かれていて、その絵が50枚あるから500人＝五百羅漢図というわけなんだ。現代になってから、この羅漢図を守り伝えるために14年もかけて修理が行われたんだ。この展覧会では初めて国内にある全部の絵（第1号～第50号幅）が公開されるよ。

※第48・49号幅は東京・根津美術館蔵、第46・47・50号幅は明兆の時代より後に制作されたり、模写されたりした作品です。

プチ

キミも研究者だ

セリフにチャレンジ！

五百羅漢図（ごひゃくらかんず）の中の羅漢（らかん）さんをよく見て！

いろんな表情でなんだかとっても

ユーモラス！

会場に展示（てんじ）してある掛け軸（かけじく）の横

には、マンガみたいに吹（ふ）き出しと

セリフを書いたパネルがあるね。

これは博物館の人が想像した

セリフなんだ。

あなたは、どう思った？

右の絵を見てセリフを考えてみよう！

おうちでゆっくり考えてもいいね！

五百羅漢図は 50 枚もあるので、少しずつ入れかえて展示しているよ。
この作品は 10月24日（火）～11月5日（日）の間、会場で見ることができるよ！

重要文化財　五百羅漢図（ごひゃくらかんず）　第17号幅（ふく）
吉山明兆 筆　南北朝時代　至徳 3 年（1386 年）東福寺

4 つながる・つづく 海外との交流

中国で禅を学んだ円爾さんは、日本に帰るときにたくさんの本や品物を持ち帰ったんだ。全部で 100 冊以上もある、右の百科事典も円爾さんが持ち帰ったといわれているよ。

天地の様子や地理、政治の仕組みや産業の様子、病気、薬や食べ物、自然の動物、植物や鉱物まで、ありとあらゆる情報が書かれているんだ。

このような東福寺を中心とした海外との交流は円爾さんのお弟子さん（聖一派）の代までずっと続いたんだ。だから、東福寺には国内だけでなく、たくさんの海外からの品物や資料が残っているんだね！

国宝　太平御覧（たいへいぎょらん）　中国・南宋時代　12～13 世紀　東福寺　※会期中冊替えあり

5 なんでも大きい東福寺

仏手（ぶっしゅ）　鎌倉〜南北朝時代　14 世紀　東福寺

会場で、大きな左手を見つけてね。大人の背（せ）より高いぞ！これは東福寺の本尊（ほんぞん）（お寺の中心になる仏さま）だった釈迦如来坐像（しゃかにょらいざぞう）の一部なんだ。残念ながら焼けてしまって、今はその姿を見ることはできないけれど、きっと、大きな大きな仏さまだったんだろうね。

これだけの仏さまのある東福寺だから、お寺の建物もふだん使う道具も、み〜んな特大サイズ。彫刻（ちょうこく）も書画も工芸品も東福寺のものは、何でも大きいんだ。そのスケール感は、禅宗（ぜんしゅう）のお寺の中では日本一といわれているよ！

？クイズにチャレンジ！

そのむかし、東福寺ですわっていたこの手の持ち主の仏さま。身長は何メートルだったと思う？

1. ３メートル
2. 10 メートル
3. 15 メートル

特別展（とくべつてん）の会場で
ほんものの手を見たら、
さっとイメージできるよ！

ヒント

※こたえはさいごのページへ

おわりに

最後まで読んでくれてありがとう！
東福寺で守り継がれた文化は、
いま、生きている私たちにも
たくさんのことを教えてくれるよ。
特別展「東福寺」は、いつもは
ほとんど見ることができない、たくさん
のお寺の宝物を一度に見ることができる
貴重なチャンス！
ぜひ、会場でゆっくりと展示を見てね。

クイズの答え 3 **15メートル**
すごく大きいね！びっくり！

MAP

重要文化財 二天王立像のうち 吽形像
鎌倉時代 13世紀 東福寺

特別展 東福寺 2023年10月7日(土)～12月3日(日) 会場：京都国立博物館 平成知新館

主催：京都国立博物館、大本山東福寺、読売新聞社、NHK 京都放送局、NHK エンタープライズ近畿

観覧料・アクセス・休館日等は下記サイトをご確認ください

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527 TEL:075-525-2473（テレホンサービス）

［主な展示替］
前期展示：10月7日（土）～11月5日（日）
後期展示：11月7日（火）～12月3日（日）
※会期中一部の作品は上記以外にも展示替を行います。

展覧会公式サイト https://tofukuji2023.jp/
京都国立博物館ウェブサイト 特別展「東福寺」ページ
https://www.kyohaku.go.jp/jp/exhibitions/special/tofukuji_2023/

「特別展 東福寺 はじめてガイド」 編集：京都国立博物館 教育室 発行：2023年9月